

各位

化学部会/化学装置に係る設備管理の勉強会 (c-SKG) 開催のお知らせ (2020年度)**【計画概要】**

主催団体：近畿本部化学部会

共催団体：化学物質管理研究会 (MOCS 研)

開催頻度：年5-6回隔奇数月土曜 MOCS 研拡大幹事会と併催 1 講義 1-2 時間程度

開催場所：(公) 日本技術士会 近畿本部会議室 (大阪市西区靱本町 1-9-15 近畿富山会館 2 階)

講義内容：1 年目(2018 年度)は教材紹介と動機付け、2 年目(2019 年度)は輪読会形式、
3 年目(2020 年度)は化学部会行事との共催により講義と見学会をおこなう。**【技術資料の収集】**

- ・月刊「化学装置」毎年8月号より定期購読 - 回覧は講師と参加者(希望者)
- ・月刊「化学物質管理」毎年8月号より定期購読 (MOCS 研)
- ・混触ハンドブック、腐食反応、潤滑油 ほか各種関連技術文献を収集中 (専門書の寄贈を歓迎)

【協賛団体】 勉強会を安定的に運営するに係る協賛団体 (化学部会) を募集しております (別紙参照)**【講義】** 感染症対策として講師・参加者在宅可のテレワーク式講演会 (都度の開催案内で確認をお願いします。)

2020 年 第 1 回	7/11 (土)	1. 労働衛生工学概論と局所排気装置設計の基礎 労働衛生コンサルタント 南方英則技術士 (衛生工学) 2. 化学の現場で働く (第 2 回) ~IoT 化への対応~ 大阪有機化学工業株式会社 若林真樹技術士 (化学、経営工学)
2021 年 第 2 回	1/23 (土)	1. 燃料電池の化学プロセス設計を学ぶ (仮) 田島収技術士 (機械) 2. 化学設備関連法令 (第 3 回) 安衛法特殊化学設備 近畿化学協会安全研究会 安田稔技術士 (化学)
2021 年 第 3 回	3/13 (土)	1. 化学系向け AI/DL (深層学習) を学ぶ 協賛団体日本設備管理学会人材育成研 丸山正男講師 2. 腐食反応の化学~基礎知識の獲得と応用事例~ 日鉄テクノロジー(株)尼崎事業所材料評価部 東茂樹技術士

【見学会】 感染症拡大の収束への見込みがたたないため、本年度の開催は見合わせる

2020 年 第 1 回	9/9 (水)	繊維製品含有化学物質管理に係わる実務を学ぶ (化学部会主催) 一般財団法人ポーケン品質評価機構大阪分析センター (大阪市築港)
2020 年 第 2 回	11/11 (水) (暫定)	労働安全衛生工学分野に係る実務教育を学ぶ (c-SKG 会主催) 中央災害防止協会大阪教育センター (河内長野市)

案内先：MOCS 研累積案内者、近畿-化学部会 (+協賛部会)、化学物質管理士協会、協賛団体ほか

参加費：勉強会 (資料代)：c-SKG・MOCS 研セット：会員 2,000 円、非会員 3,000 円

会員資格：c-SKG 会は日本技術士会の会員、MOCS 研は化学物質管理研究会の会員

協賛団体(化学部会担当)：参加費は無料、但し欠席で資料のみ請求は非会員扱い

化学物質管理士協会会員：参加費、欠席で資料のみ請求共に会員扱い

以上

各 位

化学部会/化学装置に係る設備管理の勉強会開催のため近畿本部協賛団体ご参加のお願い

伊藤 雄二

公益社団法人日本技術士会 近畿本部 化学部会長（押印省略）

貴社ますますのご清祥、お慶び申し上げます。

さて、我が国の化学産業はわが国第2位の生産量あるいは輸出産業の地位を占めるほどに成長してまいりました。また、我が国では生産性革命や少子高齢化対策なども踏まえて、無人化装置やIoT利用の開発が急速に進んできております。しかし、いかに無人化・遠隔操作が可能な時代にあるとはいえ、その設備や装置を維持管理する使命は人に任されるものであり、無人化とは真逆な方向である高度なプロ人材の役割が各方面で重要と認識されてきております。近畿に拠点を置く多くの化学系製造業においても、高度な人材となるべき設備管理人材の確保は深刻な事態になると見受けられます。そこで、今般、近畿本部 化学部会においては、従来から研究を進めておりました化学物質管理研究会近畿支部活動の強化に連携する形で、化学装置に係る設備管理の勉強会（化学部会 c-SKG 会）を立ち上げ、得られる成果を世に問えるようにしていけるよう目指すものです。

この化学部会 c-SKG 会は、おおむね3年程度を見込んでおります。一昨年後半からの初年度は、化学装置に係る設備管理の目的と手段、戦略的設計、化学設備関連法規、実践するうえで、労災防止の視点、未然防止に有効な管理手法、2年目の昨年度は設備管理に係るIoT技術学習、化学事故事例研修、ケミカル類の分析関係の見学会などを実施します。本年度は、安全工学者などの講義と事例紹介などを受けながら、また、どのような標準的な教材類を提供していくのが良いかなどの課題解決策を講師先生や参加者による相互研鑽を踏まえながら検討していきます。

この活動は社会貢献活動でもあり、国連の定める継続的開発目標 WSSD2020 目標（化学物質の健康・環境リスク最小化の達成）、国連 SDGs2030 目標（労災・事故死の大幅減少や質の高い教育をみんなになど）並びに技術経営（MOT）にも通じるものとなります。皆様からの、c-SKG 活動に対するご賛同を賜りまして、勉強会講師の派遣、生徒役の勉強会参加をお願いするものです。

これを機に、是非とも、近畿本部協賛団体にお入りいただき、化学部会 c-SKG 会へのご参加をお待ちしております。なお、協賛金は近畿本部部会等活動奨励金の原資として利活用されます。

※近畿本部協賛団体（化学部会担当）に参加した場合

- 1) 協賛団体協賛金：2020年度 25,000円/口/年（～2021年3月末）
- 2) 化学部会 c-SKG 会の特典：
 - c-SKG 会に参加（1名/口）の場合、参加費 3,000円を毎回無料とします。
 - c-SKG 会の講師の場合、心ばかりではありますが、謝礼をいたします。
 - c-SKG 会の成果が出版される場合、お名前を掲載させていただきます。
- 3) その他、近畿本部が定める協賛団体の特典：“協賛団体募集ご案内”を参照願います。

<https://www.ipej-knk.jp/kyousan-dantai.html>

以 上